

57

0773

772

此(佐)有(早)合(倉)之(補)修(ス)之(青)田(際)未(ル)氣(付)別
者(有)之(思)倉(欠)之(去)サ

十月廿五日

三島深

閱

57

0773

0772



陸軍省 領受第二三八五號

十月十四日

第十一號

電報譯

十月十四日

日午前午後五時

分分著

陸軍次官宛

發信者 青島守備軍長 陳長

青通九八三 佐世保青島間海底線本日
前〇時二十分より 青通断線ノ模様アリ
信省ト協議シ至急何介ノ午配セシタレ
至急報ノ無線ヲ經由セシム

十月十四日 結



0274



政令第三八五號

十月八日

青通第一二三二號

佐世保青島間海底線全通之件通牒

大正四年十月三日青島守備軍參謀長奈良武次

陸軍次官大島健一殿

佐世保青島間海底線障礙ニ關シテ十月

二十四日附青通第一〇五二號及十月二十六日附

青島通第一〇六〇號ヲ以テ通牒致置候通

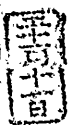
障礙ノ位置ハ二個所ニ存シ爾來遞信者海

底線布設船小笠原丸ニ於テ改修中ノ處

其第一障礙ハ十月二十三日改修同二十六日單

信通信ヲ以テ假閉通ニ第二障礙ハ天候ノ

26/10



都合ニ依リ本十月三日午後四時改修ヲ終リ
 假全通ニ通信ヲ平常ニ復セシメ候ニ付承知
 相成度尚別冊障碍ニ關スル記事為參考
 及送附候也
 追テ本修理完了ニ關シテハ佐吉保局ニ於テ最終裁
 驗ノ上決定致答ニ有之候ニ付申添候

別冊
 十月廿三日
 工兵課

松印
 大正 伊東武十郎印



閱



第 二 二 八 號 共 五

十 月 四 日

第 二 五 號

電 報 譯 文

月 三 日 午 前 後 九 時 正 分 著

次 官 宛 發 信 者 青 島 軍 務 課 長

佐世保青島間海底線第二障礙修理終了本
日午後四時及全通ニ相宜ニ重通信差支ナシ

陸 軍

0272



閱



改第二三八五號其四

十月廿七日

第二五號

電報譯

十月廿七日 午前午後八時二分著

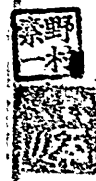
陸軍次官宛

發信者青島守備軍參謀長

青通一〇六〇、本日通信省ト打合セ、上佐世保

青島線ニ依リ取敢ス一般公衆電報ノ取

扱ヲ開始ス



西電改第二三八五號

陸

軍

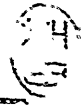
6220

8220

通信省ニ於テリキ
 陸セリトノ電路アリ
 十月二十日
 工部局

6220

8220



陸軍大臣官宛

十月五日

第百號

電報譯 十月廿九日 午前午後二時五分

陸軍大臣官宛

發信者 陸軍大臣官宛

青島第一。五三三海軍線一障害二如所了其六
 去月廿九日四六海軍線一障害二如所了其六
 差支十々以テ所及位世係ト廣報ヲ限リ交
 換シテ他ノ一本日測定ノ結果去月廿九日
 海軍線一障害二如所了其六
 目下小倉原九主任持所より通信者ハ以中
 一般公衆電報ノ取扱ハ有因考リ待テ決之不

陸軍



功第三三八番其二

青通第一〇三八號

佐世保青島間海底電線障害ノ件報

大正四年十月十九日青島守備軍司令官大谷憲久

陸軍大臣岡田市之助殿

十月十四日午前〇時三十分ヨリ佐世保青島間海底電線不通断線ノ模様有之矣之件不取敢及報告矣也

迄而直ニ青島海軍無線電信所上青島軍用通信所上ノ間ニ現字機一面線ヲ設ケ當軍電信隊有線無線電信通信中ノ海軍無線電信所ニ派遣援助ニ通信者ノ



柳原

通牒ニヨリ至急官報及緊急局報
 無線電信ニヨリ連絡シ其他ハ總テ郵送
 スルフトシ右恢復手配中ニ有之矣ニ付申
 渡矣

頃聞 大分県 郵政

0782

却生るる由
長
島
守
備
長
官
の
手
紙
に
由
り
て
長
官
の
手
紙
に
由
り
て



第 二 三 號

十月三十日

第 二 三 號

電報譯 十月十九日 午前午後 九時二十分 著

小笠原丸海軍修理ノ方々
入港セルニ天候不良ニ由リ
ニ着目ニテ豫定

小笠原丸海軍修理ノ方々
入港セルニ天候不良ニ由リ
ニ着目ニテ豫定

軍